

医療機関別係数に係る検討課題と前回の主な指摘事項

1. 基礎係数（医療機関群）のあり方

(1) 論点

- 各医療機関群については、基本的な診療機能に着目した医療機関群毎の適切な基礎係数（出来高点数の平均値）を設定するという趣旨を踏まえた現行の医療機関群についてどう考えるか。
- 医療機関群の要件設定や参加に係るルールについて、どのように考えるか。

(2) 前回の主な指摘事項

- 医療機関群は、一定の実績要件のもと自動的に群分けされているが、格付けのように受けとめられている。病院が果たすべき役割・機能に応じて医療機関群を設定し、病院が自ら果たすべき役割・機能を選択できるようにするべきではないか。
- 地域の基幹病院として多様な患者に対応する病院の役割は評価されるべきではないか。

2. 調整係数の置き換えのあり方

(1) 論点

- 基礎係数や機能評価係数Ⅱへの置き換えとともに、激変緩和措置が適用されている医療機関について、より詳細な分析が必要ではないか。また、そのような医療機関について今後の対応をどう考えるか。

(2) 前回の主な指摘事項

- 激変緩和措置の対象となった病院の中には、DPC対象病院となって診療内容が著しく変化したなどの現在の診療密度と必ずしも見合わないにもかかわらず係数を引き上げられているような病院があるのではないか。要因分析が必要。

3. 機能評価係数Ⅱについて

(1) 論点

- 各係数について、その趣旨や導入目的に鑑み、全体の再整理が必要ではないか。その際、それに適した重み付けを行うことについて、どう考えるか。
- 重症度係数については、その実績や役割について、検証することが必要ではないか。
- 医療機関間の機能分担・連携を推進するような機能評価係数Ⅱによる評価のあり方についてどう考えるか。

(2) 前回の主な指摘事項

- それぞれの医療機関群が果たすべき役割・機能に応じた機能評価係数Ⅱの重み付けが必要ではないか。
- 重症度係数はゼロの病院であっても、実態は重症患者を相当数扱っているところも存在している。重症度係数導入の目的と現状について整理すべきではないか。
- 効率性指数、複雑性指数、カバー率指数などのわかりやすく病院機能を反映する指数は継続し、保険診療指数や地域医療指数といった多くの項目が評価されている指数については再整理が必要。
- 後発医薬品係数については、後発医薬品の使用の推進に一定の効果があったが、各係数の目的を踏まえて、重み付けなどについて検討が必要。